

H29.4 小泉中学校と統合し、コミュニティ・スクールとして誕生した新生津谷中学校！～津谷中応援隊～

宮城県気仙沼市	●活動名	●関係する学校名
	津谷中学校学校運営協議会 津谷中応援隊	気仙沼市立津谷中学校

協働活動開始年度	令和元年度	学校運営協議会	指定・設置日	地域学校協働本部	有
			平成29年4月1日設置		
活動区分	学校支援活動		地域課題解決学習		—
	—		—		
統括的な地域学校協働活動推進員等の数		配置人数	地域学校協働活動推進員等の数		配置人数
		—			1人
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無	ICT機器活用	無
	14人				
参考URL	http://www.kesenuma.ed.jp/tsuya-cyuu/html/htdocs/				



●連絡先	気仙沼市教育委員会生涯学習課	☎ 0226-22-3442
------	----------------	----------------

●活動の概要・経緯
平成29年4月に気仙沼市立小泉中学校との統合に当たり、小泉中学校区の保護者や地域住民から、これまでの小泉中学校及び小泉地区の良さを津谷中学校の教育活動に取り入れて欲しいという要望があったため、気仙沼市教育委員会からの指定を受け、コミュニティ・スクールとして出発した。学校運営協議会から、「各地域に伝わる伝統行事としての太鼓を各学年で継承してほしい」、「地域の人的資源を学校教育活動の場で生かすべき」という意見を生かしながら協力体制を整えた。また、あと23年すると本校創立100周年になることから、同協議会によるソフト、ハードに関する「津谷中学校 長寿命化計画」を策定し、気仙沼市教育委員会と設置者である気仙沼市に対し、意見書として令和2年3月に提出するなど、正に地域学校協働活動としての機能も有する団体である。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

過疎化による後継者不足が心配されている川内、馬籠、小泉の各地区に伝わってきた太鼓を中学生が継承するため、気仙沼市が推奨するSDGsの11「住み続けられるまちづくり」を本校の「総合的な学習の時間」のテーマに掲げ、各学年毎、地域から講師を招き、年間を通して学習する時間を設定すると共にその成果を披露する場とする各種発表会を設けた。また、太鼓のほか、地域住民が昔取った杵柄を子供たちのために役立てたいとの願いから、学校と相談の上、「津谷中応援隊」を結成し、音楽の箏や三味線の学習、習字の指導、クロス刺繍の補助など教育活動への支援や草刈りや花壇づくりなどの環境整備や駅伝練習や部活動支援などに協力をいただいている。

【実施に当たっての工夫】

支援する方々が、協議や準備、休憩できる場所として、校内の余裕教室に「地域連携室」を設けるとともに、いつでも気軽に来校できるように支援者を登録制にして、傷害保険を整備すると共に、靴箱やネームプレート、在籍札などを教職員及び生徒が見えるよう掲示する工夫をした。また、各教科担任等の要望に応じるため、地域連携担当教員が窓口となり連絡調整を行っている。

【関係機関・団体等との連携状況】

太鼓の講師に当たっては、太鼓の代表の方が学校運営協議委員になっていることから、連絡調整が図りやすい。また、気仙沼市本吉総合支所及び振興会や自治会とも連携し、地域のお祭りや催し物等に生徒たちの各太鼓の発表の場を設定していただいている。1学年が実施している職場体験学習においては、学校運営協議委員の協力も有り、積極的に受け入れていただいている。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

地域に伝わる太鼓を学習し発表したことは、太鼓の良さを知ると共に、自分たちが継承し、後継者となって後世に伝えていきたいという意識付けにつながっている。このことから地域の歴史や産業、伝統などを調べる学習に意欲的に取り組むようになるなど効果を発揮している。また、駅伝練習においては、地域指導者の方が担当教師と役割を分担しながら、その専門性を生かした指導を行い、生徒の内面だけではなく技術力の向上にもつながった。今年度は、コロナ禍にあつて津谷中応援隊の要請が思うようにできていないが、今後地域の感染状況の実情を鑑みつつ、社会に開かれた教育課程の試みも視野に入れ、取り組んでいきたいと考えている。

●その他

令和2年3月に同協議会が気仙沼市教育委員会と設置者である気仙沼市に提出した意見書「津谷中学校 長寿命化計画」は、同年4月に気仙沼市教育委員会教育長から前向きな回答をいただき、今後取り組むべき課題が見えてきた。

令和2年3月に同協議会が気仙沼市教育委員会と設置者である気仙沼市に提出した意見書「津谷中学校 長寿命化計画」は、同年4月に気仙沼市教育委員会教育長から前向きな回答をいただき、今後取り組むべき課題が見えてきた。



にき
取し3
りて年
組一
組一
生
ん
御
が
で
嶽
外
い
太
部
る
鼓
講
様
一
師
の
を
練
習
招



習お津
招谷1
き中
し学
し中
て年
の援
隊級
のづ
Mの
A阿
P部
りさ
体ん
験た
学を
め